

遊びの場を見守る大人にお願いしたい5つのこと

- 01 こどもが安心できるよう、そばで見守りながら過ごす
- 02 遊びのきっかけ・ヒントを、さりげなくつくる
- 03 「やってみたい」や「何もしたくない」を尊重する
- 04 安全に、安心して過ごせる環境を整える
- 05 こどもの気持ちを受け止め、こども同士の関係を見守る

わくわくキット カンタン! 借り方ガイド

01 WEB予約

空き状況を確認し、WEBから申請!



貸出決定の通知が届きます。

02 受取

貸出決定通知を持って、市役所こども未来課の窓口で受取



貸出期間 最長2週間

03 返却

貸出決定通知に記載の返却日時に市役所こども未来課の窓口まで返却



詳しくは、二次元コード先のページでご確認ください!

<https://logoform.jp/form/5KXT/1464941>

貸出申込はこちらから



お問い合わせ先

こどもの遊び場に関する
富士市ホームページ

<https://www.city.fuji.shizuoka.jp/1023050000/p007743.html>



富士市役所こども未来課 電話:0545-55-2837
メール:kodomomirai@div.city.fuji.shizuoka.jp

令和8年3月 富士市こども未来課 発行





なぜ、いま、遊び場なの？



近年、スマートフォンやゲームの普及、共働き世帯の増加など、様々な要因により子どもが家の外に出て遊ぶ時間が減少しています。子どもの健やかな成長のためには、家ではない場所で、人と関わりながら過ごす遊びの時間が、いま、あらためて大切になっています。遊び場は、ただ“遊ぶための場所”ではなく、子どもが「そこにいていい」と感じられる居場所です。



遊びが育む「3つのチカラ」



体のチカラ

体を動かし、いろいろな動きを試す中で、自分の体を感じ、使う力が育ちます。



心のチカラ

感じ、考え、試すことで成功や失敗を経験し、うまくいなくても気持ちを立て直しながら、心の創造性や主体性を育てます。



人と関わるチカラ

一緒に過ごす中で、協力や共感を通して相手の気持ちに気づく力や、伝える・聞くといった人と関わる力が育まれます。

わくわくキットでできること

体を動かす遊び

- けんけんぱリング
- プレイパラシュート
- バランスストーン
- 長縄 など



表現する遊び

- ブロック
- シェイカー
- お絵描き など



こんな場面が遊び場に

いつもの場所が

わくわくキットを活用することで、いつもの広場や公園が新しい遊びの広がる特別な空間となります。また、公会堂などの身近な場所も、子どもたちが自然と集まりたくなる魅力的な遊び場として生まれ変わります。



地域イベントが

地域のイベントの一角に、わくわくキットを活用した遊び場をプラスすることで、子どもが主役となる空間が広がり、イベント全体の更なるにぎわいにつながります。また、参加した地域住民や子どもたちが自然と交流し、つながりが生まれる場にもなります。

名前の由来

わくわくキット

「わくわくキット」という名称は、実際にキットで遊んだ富士市の子どもたちから意見を募り、その中で特に人気のあった「わくわく」という言葉を取り入れて決定しました。この「わくわく」には、3つの意味が込められています。

- ①「やってみたい!」という好奇心がわく
- ②創造性やアイデアがわく
- ③遊びを楽しむことで元気がわく

